



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)ドエル北2東2 | 階数 | 地上15F |
| 建設地 | 札幌市中央区北2条東2丁目1-24 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | 79人 |
| 気候区分 | 2地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2017年9月 予定 | 評価の実施日 | 2016年3月9日 |
| 敷地面積 | 501㎡ | 作成者 | |
| 建築面積 | 234㎡ | 確認日 | 2016年3月10日 |
| 延床面積 | 3,242㎡ | 確認者 | |

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 71%
③上記+②以外の 71%
④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|--|
| 総合 賃貸の共同住宅だが、分譲共同住宅と遜色の無い断熱仕様、住設仕様とし、省エネルギー対策、維持管理対策を充実した建物とした。 | | A 省エネルギー エネルギーの使用の合理化等に関する法律を遵守し、計画した。 |
| B 省資源等 台所、洗面室に水優先吐水栓を採用、浴槽は高断熱浴槽を採用し省資源化を図った。 照明器具はLEDを多用した。 | C 緑化 前面道路側北東側、別棟ゴミ庫横に植栽を配した。 | D 雪処理 前面道路側敷地内にロードヒーティングを設けた。雪庇防止金物を東、南、西面の3方向に設置した。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される